# **WEEKLY REPORT**

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ \_\_\_\_\_\_(創立1959年11月12日)

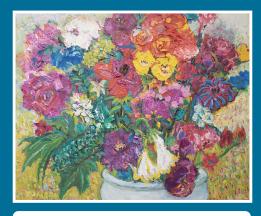
2023-2024年度 国際ロータリーテーマ

## 世界に希望を生み出そう

R.I.会長 ゴードンR・マッキナリー 国際ロータリー第2600地区 ガバナー 折井 正明

2023-24年度 上田ロータリークラブ

- ●会長 林 秀樹 ●副会長 三井 英和·酒井 喜雄
- ●幹事 飯島 幸宏 ●会報委員長 斉藤 達也







## 第2935回例会(令和6年1月29日)



#### [会長挨拶]

能登半島地震から4週間が経過 しました。

被害の状況が明確になってきま したが、様々な問題が新たに発生 しているようです。生活の基盤を



失った人のこれからの生活のことを考えると、かなり 心配になります。日本政府の対応にも限界がありますので、 みんなでできることを力を合わせていくしかないのかな、 と思っております。

まだ、能登半島地震の余韻が覚めやらぬ、昨日、東京 神奈川で震度4の地震がありました。

地震速報が流れた時、とうとう南海トラフ地震がきたか。 しかもこの時期に。と覚悟したのは私だけでしょうか? 話は変わりますが、先週から、1974~1975年に起きた 連続企業爆破事件の一つに関与したとして、指名手配 されていた「東アジア反日武装戦線」のメンバー桐島聡 容疑者とみられる男が名乗り出た、というニュースが 連日されています。その男は、末期の胃がんを患っており、 最期ぐらい自分として死にたい、ということで病院に 名乗り出たとのことです。

私はまだ子供だったのでその事件のことは、薄っすら 記憶にあるだけですが、逃亡生活49年と聞いて、事件そ のものよりも逃亡生活にすごく興味を持ちました。

しかし、これからいろいろなことがわかると思った矢先、今日のニュースで死亡したとの事です。49年の逃亡生活とはどのようなものだったのか、きっと、自首する方がよほど楽だったのではないか、何のために死ぬまで逃亡していたのか、なぞは深まるばかりです。

## [委員会報告]

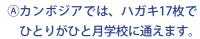
●社会奉仕委員会 柳澤雄次郎 委員長

ユネスコ世界寺子屋運動への協力のお願いです。

書き損じハガキ、未使用のハガキ や切手、未使用プリペイドカード、 商品券などを、2月5日(月)、26日(月)

の例会にお持ちください。受付に 箱を置いて集め、2月末に地区 事務所に上げます。

「ユネスコ世界寺子屋運動」は、 学びの場を広げていく運動です。







皆様ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## ●国際奉仕委員会 酒巻 弘 委員長

ご報告させていただきます。 2017年から毎年実施しておりますが、 MANABI外語学院とタイの WATSING RCと合同で、 タイにおきまして自立支援の必要な



子供たちに教育支援をしたり、寝たきりの老人を訪問して 水や食料を提供する活動を行っております。

この度、当上田ロータリークラブで助成金として5万円を 拠出しております。ご報告までですが、ご紹介いたします。



- ●例会/毎週月曜日 12:30~13:30 ●会場/上田高砂殿=上田市天神2-2-2
- ●事務所/〒386-0024 上田市大手1-10-22 上田商工会議所内 ●TEL/0268-25-1039 FAX/0268-25-3711 e-mail: ueda-rc@oboe.ocn.ne.jp

## [会員卓話]

### 木内孝信さん

## 「ローカルがつくる新しい未来」

私は過去2回、同じような内容 のお話をさせていただいております が、年々少しずつ進化を遂げてい ると自負しております。今日はその



辺りのご報告も兼ね、お話しさせていただければと思います。

タイトルを「ローカルがつくる新しい未来」と付けさせていただいております。まさに今、中央集権的な形よりもローカルと、十何年前からクローズアップされてきてはおりますが、益々それを実感する事がありましたので、それをお話できればと思います。

今、この地域に起こっている事といたしまして、人口 減少だけではなく、地域が衰退しているという現実が あるという事から入らせていただきます。

2. PROBLEM:何が問題か?

衰退を止める策がない(失われた30年)

東京のみが一人勝ちの状態。

長野<mark>県外</mark>に本社・本店のあるチェーン店での消費行動等により所得が長野県から県外、特に東京へと流れている状況にある。

3. ISSUE: 解決すべき課題は何か?

今ある地域の価値を見出し、共有し、可能性を広げるため

長野県外へのお金の流出を食い止める必要がある。

そのために公的資金を入れずに、 民の力で持続的・継続的に地元のお店を使い、 地域経済を活性化させ<mark>地域内</mark>での経済循環を目指 す必要がある。



5.MISSON:果たすべき役割は何か?

- ■地元店にとって負担が少ない広告宣伝媒体
- ■地域QOLの向上(生活満足度up、地域定着・参加)
- ■地域通貨(地域経済の活性化・コミュニティの活性化)
- ■消費者動向(地域資産としてのデータ)

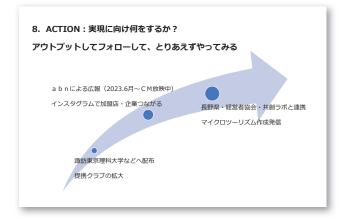


7. APPROACH: 実現に何が必要か?

踏み出すための勇気

『ローカルメリットクラブ』の認知度UP

『ローカルメリットクラブ』への参加者増



9. ACCELERATION: 何が実現へ加速させるか?

フォーカスポイントを決める=手を挙げる × ケイパビリティを共有する

購入企業や関係者の方々に、

地元のお店・お気に入りのお店(加盟店)を紹介してもらう

そして、利用者として地元のお店を利用してもらう





## 今だけ 金だけ 自分だけ

経営は続かないのでは? ましてや社会はどうなる???

## [『ロータリーの友』紹介]

雑誌委員会 土屋 勝浩 委員長

今回は、第2530地区で行われた 職業奉仕セミナーの講演要旨を 紹介いたします。タイトルは「私に とっての四つのテスト」、講師は ハードオフコーポレーションの 山本善政会長です。



皆さんもご存じの通り、ハードオフコーポレーションは家電や家具、日用品を中心とした日本のリサイクルショップの先駆けです。山本氏は1972年にオーディオ専門店として新潟県で会社を創業され、その後20年間売上げも右肩上がりでこられました。

しかし、93年のバブル崩壊で売上げは一挙に半分にまで減少し、それを機に、リユースショップへ方向転換を図ったそうです。今でも、全国からフランチャイズの引き合いが多くあり、グループ全体の店舗数は950店、従業員数は1万人の規模にまで成長したそうです。

山本さんが講演で話されたのは、バブル崩壊後の苦しかった頃の話です。商売も上手くいかず、銀行からは融資を断られ行き詰まっていた彼は、当時ロータリー入会の推薦人であった菊水酒造の高澤会員に相談したそうです。その時に一言だけ「真っ白になりなせいや」とアドバイスをいただいたそうです。帰った後にその言葉を真剣に突き詰めていくと、実は間違っていた経営理念が否定されたのだという考えに至りました。そこで、自分なりに真っ白になって考えてみたら、正しい理念を持ち合わせていなかったことに気付きます。その後、理念にこだわっていこうと勉強を始めました。稲森和夫氏の「利他の心」、渋沢栄一の「論語と算盤」などを読みあさり、物心両面の幸福や道徳と経済のバランスについて学びを深めたそうです。

そこで、大きなことに気付きました。毎週例会の度に 唱和していたロータリークラブの「四つのテスト」、これ こそ自分が探し求めていた経営理念のモデルではないか。 そこで、四つのテストが生まれた経緯を自分なりに勉強を 始めました。

一つ目、真実かどうか。こういった考え直しをする場合、 全て極論で考えてみたら、どれが真実か間違っているか 見えてきたそうです。

二つ目、みんなに公平か。例えば荷物は重さによって 料金が違ってくるが、電車料金は人の体重が違っても 料金は一緒。だから人間皆平等ということではないか。

では、公平って何だろう。全てのお客様に対してワンプライスで提供することが公平。従業員に対しても学歴や年齢、勤続年数でなく仕事のレベルで時給が上がるシステムにすることが公平に当たると考え、キャリアパスプランを明確にしたそうです。

三つ目、好意と友情を深めるか。この点については常に お客様や従業員と親睦を図ることを心掛けているそうです。

四つ目、みんなのためになるかどうか。「みんな」とは 誰のことなのかを考え、優先順位にこだわったそうです。 その結果、一番は社会、世の中の役にたとう。二番は お客様のため、三番は社員・スタッフのため、四番は 会社のため。この順序は会社の経営理念の中に反映されて いるということです。

そしてロータリーで「四つのテスト」に出会えたおかげで、今の経営理念を築き上げることができたと感謝の言葉を述べられていました。

また、もうひとつの伝えたいこととして、「いくら 正しい経営理念だとしても正しいビジネスモデルを持ち 合わせていなければ努力も報われない」と語っています。 バブル崩壊の当時は、家庭にものがあふれ過ぎて困って いる状態でした。であればそれを掘り出せばいいのでは ないかと考え、今のリユースショップへの業態変更に 繋がったそうです。

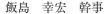
最期に、松尾芭蕉の「不易流行」という言葉を取り上げています。「不易」とは時を超える不変の真理、変えてはいけないもの。「流行」とは時代や環境の変化で変えなければならないもの。山本氏にとって不易とは自社の経営理念。そして、流行とは時代にあったビジネスモデルだということです。特に近年はSDGsが浸透してきていますが、リユースはまさにその真ん中を行くビジネスです。

変化の先には必ずチャンスが待っていますから、変化に 挑戦することを恐れず、不易イコール経営理念を守って いくようにしていますと締めくくっています。

私たちにとっても大変示唆に富んだ講演内容でした ので、ぜひ一度ゆっくりご覧いただきたいと思います。

## [幹事報告]

- 地区事務所 会長エレクト研修セミナー (PETS)のご案内
- 2. 上田六文銭RC 会報閲覧URL





3. 例会変更 上田六文銭RC 1月30日(火) 定受なし

2月13日(火) 定受なし

20日(火) 定受なし

27日(火) 定受なし

上田東RC 2月14日(水) 定受なし

21日(水) 定受なし

3月13日(水) 定受なし

20日(水) 定受なし

## 4. 会報恵送 松本西南RC

※2600地区より、能登半島地震義捐金 募金を行うにあたり、各クラブで 一人あたり1,000円以上の募金を お願いしたいとの連絡がありました。 1月29日(月)、2月5日(月)と募金箱を 設けますので、ご協力のほどお願い 申し上げます。



### [====BOX]

飯島幸宏さん 石井懋人さん 伊藤典夫さん 小幡晃大さん 金子 良夫さん 上島孝雄さん 窪田秀徳 さん 桑澤俊恵さん 小山宏幸さん 斉藤達也さん 酒巻 弘さん 春原



宏紀さん 滝沢秀一さん 林 秀樹さん 布施修一郎さん 保科茂久さん 三井英和さん 矢島康夫さん

> 本日喜投額 18名 ¥ 35,000 累 計 ¥1,088,500

## [例会の記録]

司会:内河 利夫 会場・出席委員長 斉唱:ロータリーソング「四季の『冬』」

- ●会長挨拶
- ●幹事報告
- ●委員会報告 社会奉仕委員会 柳澤雄次郎 委員長 国際奉仕委員会 酒卷 弘 委員長
- ●会員卓話 木内孝信さん
- ●「ロータリーの友」紹介

#### [ラッキー賞]

上島孝雄さん(矢島康夫さんより、南アフリカのチョコ レートとルイボスティー)

宮川 泰さん(柳澤雄次郎さんより、とらやの羊羹) 小幡晃大さん(柳澤雄次郎さんより、とらやの羊羹) 伊藤典夫さん(酒巻 弘さんより、韓国のり)









[出席報告]

内河 利夫 委員長



	本日	前々回 (1/17)
会 員 数	53	53
出席ベース	49	49
出席者数	34	27
出席免除(b) ()内は出席者数	5(1)	5(1)
出席免除(a)	0	0
メークアップ ()内は Make up 後		5(32) コロナ欠席 1
出 席 率	71.43	67.35

## [本日のメニュー]

- ●かに玉丼
- ●チキンとチーズの大葉巻き
- ●伊達巻き
- ●鮭の昆布巻き
- ●味噌汁



## [次回例会予定]

2月26日(月) ゲストスピーチ MANABI外語学院 『ロータリーの友』紹介

(2月5日発行)

【会報担当】 桑澤俊恵 会報委員

